

トランプ新大統領就任

米、不安彩る新時代

針路転換に憂慮消えず

「ワシントン共同」既存政治の打破を訴えて支持を広げたトランプ新大統領が就任、米国内に新たな時代が到来した。...

豊洲、石原氏の責任検証へ

小池知事、訴訟方針見直し

【共同】東京都市の小池百合子知事は20日の定例記者会見で、豊洲市場（中央区）から豊洲への移転を決定したプロセスを透明化する...

日米同盟「不変の原則」

天皇退位、理解得て法整備



衆院本会議で施政方針演説をする安倍首相=20日午後

【共同】安倍晋三首相は20日午後、衆院本会議で施政方針演説を行った。...

首相が施政方針演説 全保障の基軸なのは「不変の原則」だとして、トランプ次期米大統領との早期会談や同盟強化に意欲を表明...

反核団体「ブラウシェアーズ財団」は「ツイーは削除できるが、核による破壊は回復できない」と訴えてきた。...

TPPの国内手続き完了 トランプ氏の脱退けん制 【共同】政府は20日、環太平洋連携協定（TPP）の承認を閣議で決定した。...



記者会見する東京都市の小池百合子知事=20日午後、都庁

説明にしか応じていない石原氏をけん制する狙いがあるとみられる。小池氏は「責任を曖昧にせず、明らかにする」と強調した。...

大使帰任、当面見送り 慰安婦少女像で政府の可能性がある。【共同】日本政府は19日、韓国・釜山の日本総領事館前の慰安婦少女像設置に反対するため、一時帰国させた長嶺安房駐韓大使の帰任について、当面見送る方針を固めた。...

Tradições Portuguesas da ilha da Madeira à Lisboa. 04 noites em Funchal e 05 noites em Lisboa. Saídas: Dez de 2016/ Feb e Abril de 2017. TUNIBRATRAVEL

JAPÃO TRADICIONAL 2017. "Pacote de 17 dias" VIA DUBAI. 26, 27, 28, 30 e 31/MAR. 1 e 3/ABR. 13/MAI. 1 e 8/JUL. 9/SET. 14 e 28/OUT. ALFAINTER TURISMO

JICA 日系社会次世代育成研修生募集 大学生招へいプログラム

JICA 日系社会次世代育成研修生募集 大学生招へいプログラム. 【研修目的】ブラジル日系社会では世代交代が進み、2世、3世以降が今後の日系社会を担う存在となっています。...

しにせ 老舗メルマガ

国際派日本人養成講座

伊勢雅臣

「希望の同盟」対「憎悪の同盟」

2017年1月8日版

安倍首相の真珠湾スピーチから

日米同盟は中国・北朝鮮の野望から世界を救う「希望の同盟」

1. 「一人、ひとりの兵士に、その身を案じる母がいて、父がいた」

「耳を澄ますと、春ては返す、波の音が聞こえてきます。降り注ぐ陽の、やわらかな光に照らされた青い静かな入り江」

ハワイのうららかな日射しに照らされた真つ青な海が目に浮かぶようだ。平成28年12月27日、安倍首相の真珠湾でのスピーチの出だしである。その真珠湾に眠る米軍兵士たちに、首相は思いを馳せる。

2. 「勇者は、勇者を敬う」

耳を澄まして心を研ぎ澄ますと、風と、波の音とともに、兵士たちの声が聞こえてきます。あの日、日曜の朝、明るく真いた、弾む会話の音、自分の未来を、そして夢を語り合う、若い兵士たちの声。

かつての敵どうしが、こうして互いの英霊に哀悼の誠を示すとき、和解が訪れる。昨日、私は、カナエへの海兵隊墓地に、「一人の日本帝国海軍士官の碑を訪ねました。その人物とは、真珠湾攻撃中に被弾し、母艦に帰るのを諦め、引き返して、戦死した、戦闘機パイロット、飯田房太中佐です。彼の墜落地点に碑を建てたのは、日本人ではありません。攻撃を受けていた側には、米軍の人々です。死者の、勇気を称え、石碑を建ててくれた。碑には、祖国のため命を捧げた軍人への敬意を込めて、

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心をもてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。(ニッケイ新聞編集部)

The brave respect the brave. 勇者は、勇者を敬う。アンブローズ・ビアスの詩は言います。戦い合った敵であっても、敬意を表する。憎しみ合った敵であっても、理解しようとする。そこにあるのは、アメリカ国民の、寛容の心です。[1]

3. 「和解の力」

あ、「パールハーバー」から5年。歴史に残る激しい戦争を戦った日本と米国は、歴史にまれな、深く強く結ばれた同盟国となりました。それは、いままでも、世界を覆う幾多の困難に、共に立ち向かう同盟です。明日を拓く、「希望の同盟」です。私たちが結びつけたものは、寛容の心がもたらした、the power of reconciliation、「和解の力」です。

4. 「リメンバー・パール・ハーバーの意味を反転させ上書きした」

安倍首相は真珠湾の光景に戻って、スピーチを締め

「リメンバー・パール・ハーバー」(真珠湾を忘れるな)とは、日本軍の真珠湾攻撃を「卑怯な騙し討ち」として、フランクリン・ルーズベルト大統領が米国民の憎しみを煽った言葉だった。そのパールハーバーを、安倍首相は「和解の象徴として記憶し続け」と訴える。

5. 「感謝の声と憎悪の声」

安倍首相は演説後、真珠湾攻撃を経験した元米兵3人に歩み寄り、一人ひとりを擁抱した。最年長のアル・ロドリゲスさん(96)は各国メディアに取り囲まれて、「首相が来てくれて本当に感謝している。これは和解の象徴だ」と話した。[3]

6. ウォール・ストリート・ジャーナル紙の称賛

安倍首相のスピーチに関する新聞報道の中で、これと似たのが、ウォール・ストリート・ジャーナル紙の論評である。アメリカを代表する経済紙だが、保守派の見解を語る新聞でもある。

7. 「憎悪の同盟」

ウオール・ストリート・ジャーナル紙の「北朝鮮の核兵器と中国の修正主義的野望が太平洋地域に脅威を与えるか」とは、日米のみならず、自由世界が抱える最大の課題を的確・簡潔に表現している。だからこそ、戦後の自由民主主義も何の抵抗もなく短期間に根づいたのである。

8. 「希望の同盟」は日米両国にとって歴史的必然

「私たちを見守ってくれている入り江は、どこまでも静かです。パールハーバー。真珠湾の輝きに満ちた、この美しい入り江こそ、寛容と、そして和解の象徴である。私たち日本人の子供たち、そしてオバマ大統領、皆さんアメリカの子供たちが、またその子供たち、孫たちが、そして世界中の人々が、パールハーバーを和解の象徴として記憶し続けられることを私は願います。[1]

「リメンバー・パール・ハーバー」(真珠湾を忘れるな)とは、日本軍の真珠湾攻撃を「卑怯な騙し討ち」として、フランクリン・ルーズベルト大統領が米国民の憎しみを煽った言葉だった。そのパールハーバーを、安倍首相は「和解の象徴として記憶し続け」と訴える。

メルマガジン「政治の本質」No. 326で、筆者のロバートさんは「リメンバー・パール・ハーバーの意味を反転させ上書きした」と評した。[2]。安倍首相の崇高な願望を無視して、この言葉を復讐の心を込めたまま使い続けることは、「寛容の心」を持たない人間の仕業となった。

安倍首相による27日の真珠湾訪問は和解の象徴だ。日米関係の重要性が増している現下の情勢が、今回の訪問をとりわけ劇的にしている。真珠湾攻撃から75年が経過し、北朝鮮の核兵器と中国の修正主義的野望が太平洋地域に脅威を与えるなか、日本は米国に立ち寄り安全保障上の最重要パートナーだ。[5]

社説は、安倍政権が日本国内の抗議デモや国会での乱闘騒ぎを押しきって安全保障関連法を成立させて、自衛隊が米軍や他の友好国を守れるようにした。防衛費を少なからず増やして増加させ、インド、台湾、東南アジア諸国などと関係強化を図った事を説明した後で、こう結んだ。

昨年の米議会での演説や今回の真珠湾への訪問を持って、安倍氏はこの事実を明らかに見せた。このことは格別な価値がある。11月のトランプ氏との会談も友好的なものに見えた。アジアの平和と発展にとって明るい兆しだ。[5]

アメリカの保守派を代表する新聞が、安倍首相の努力をここまで高く評価しているのは、中国の膨張主義を抑え込むべく、日米同盟と自由主義陣営との連帯を強化するとして安倍首相の「希望の同盟」は、しっかりと受けとめられている。

わが国の国民は、「二つ屋根の下」の大家族の中で、「大御宝」として大切にされてきた。おおよそわが国ほど「人民を臣下におく独裁者」の少ない国は希である。

その中で、拙著「世界が称賛する 日本人が知らない日本」の第三章で述べたように、「自由」は日本の政治伝統であった。その土壌があったからこそ、戦後の自由民主主義も何の抵抗もなく短期間に根づいたのである。

アメリカは国民の自由、日本は国民の幸福と、それぞれの国体は違えど、中国や北朝鮮のような圧政が支配する独裁政治体制は、日米共に天を覆うべきにらざる敵である。ここにこそ「希望の同盟」が日米両国にとって歴史的必然である理由がある。

その日米が先の大戦で互いに戦うはめになったのは、それぞれの政府内部にソ連のスパイが入り込んで、両国を裏切った戦いに引きずり込んだからだった。

現代も「憎悪の同盟」は日本国内に触手を伸ばしている。偏向マスコミ、偏向教育、反基地闘争などは「憎悪の同盟」の工作である。我々は国内外で「憎悪の同盟」と戦っていくなければならない。

【参考文献】(1)首相官邸、H28.12.27「米訪問 日米両首脳によるステートメント」(2)政治の本質、No. 326「リメンバー・パール・ハーバーの意味を反転させ上書きした安倍総理」(3)時事ドットコムニュース「真珠湾訪問「謝罪も同然」生存元米兵3人が評価 安倍首相演説に列席」(4)The Huffington Post「日米関係の「癒し」の頂点だ」安倍首相の真珠湾訪問 海外メディアが好意的に伝えている」(5)ウォール・ストリート・ジャーナル、H28.12.28「27日「社説」安倍首相が真珠湾で示した日本の価値 安倍首相が率いる日本は米国の安全保障上の最重要パートナー」

戦争の惨禍は、いまだ世界から消えない。憎悪が



演説を終え、オバマ米大統領(右)と握手する安倍首相。(共同)

「希望の同盟」は日米両国にとって歴史的必然

「希望の同盟」は日米両国にとって歴史的必然

「希望の同盟」は日米両国にとって歴史的必然

「希望の同盟」は日米両国にとって歴史的必然

「希望の同盟」は日米両国にとって歴史的必然

ニッケイ新聞人気シリーズ! 最新刊販売中!!

今年プレゼントはこれで決まり! /

日本文化

CULTURA JAPONESA

日本文化の真髓に触れる6話を収録!

【明治を創り、生きた人々】

- 坂本龍馬、海洋立国の夢、山岡鉄舟と西郷隆盛
- 西郷隆盛に学んだ庄内藩士たち
- 稲垣鏡子 ~ 武家の娘、千年の老樹の根から若枝
- 【移民の歴史コーナー】
- 水野龍「開国論」の先にある「海外移住」

特別寄稿 1300年続く伝統文化の結晶、それは日本酒

子供たちの日本を見る目が変わる!!!

国際派日本人養成講座

発行人=伊勢雅臣 (文責)

Mail: ise.masaomi@gmail.com

Twitter: https://twitter.com/#!/ise_masaomi

無料購読申込・取消: http://blog.jog-net.jp/

職業

ブラジルの現状では、失業者が増えるばかりで大変だと思えます。現在でも、失業者はポルトガルの人口くらいだと言われている。将来は人口も増え、ますます失業者は高くなるのではないのでしょうか。

サンパウロ

得たのではとも考えています。人間は、生まれつき頭が良く器用な人、手八丁の人口で何でも出来るが恵まれていない人、不器用な人など様々です。しかし、生まれつき不器用な人ほど成功したり、出世する人は多いようです。

吉野功努雄

撤去作業などを40年やりました。大富豪の金庫、工業用の重い機械の運搬、停電に備えての自家発電の据え付け(病院、スーパー等)、自動車会社はじめ諸々の工場、聖市、ABC市、有名政治家・学者などの住宅をくまなく歩きまわりました。

がいじん

直ぐに降りるつもりで運転手の傍に立っている。急に運転手が前方を見ながら話し始めて来た。聞き慣れぬ語が連続して最初の間は2、3度聞き返していたが、急に理解できた。当たらなければ、彼は日本語で話しかけていたのだが、容貌がまさかブラジル人だ。だから彼の日本語を私は本語として聞いていた。

サンパウロ

黙るうちに日本人だと考えるのに異論はないだろう。それほどあの当時、日本は外人を身近で見かけなかった。比較的外人が多かった。比較的外国人でも、外人の姿を見受けることは稀といえた。それゆえ日本人の容貌をしていれば、国籍は日本人だと考えられた。あの当時から半世紀が経過し、ブラジルからも出稼ぎに多くの2、3世が日本へ渡っていった。それらの人同士の組み合わせで、彼のように本場に伯人的容貌の日本人籍を持つ子供が生まれる可能性もあつたのだ。

定義「高齢者」とは?

ニッケイ新聞1月6日の一面に、高齢者は75歳以上、70歳前後は「社会の支え手」という見出しがあった。日本の高齢問題の研究者らでつくる日本老年学会の関係者らが、現在65歳以上とされた「高齢者」の定義を75歳以上に見直し、65〜74歳は「准高齢者」として社会の支え手と捉え直すよう求める提言を発表した。

サンパウロ

と記事にありました。私は見出しを見ただけで、全く同感だと思ひ、その後4面に続く「生誕100年」の「流れ」の記述も一気読みしました。そして感じたことは、このように事を研究しているクループがあつたのになぜ、なぜと早い時点から、なげに失うか、印象を受けました。日本は50年以上前か

秋吉 寿子

ら慣例的に65歳以上を高齢者としていたところで、確かに50年前の頃は65歳にもなれば見たい目も老人だつたように思ひます。しかしその後、日本が驚異的とも言える経済発展を成し遂げようとして国民の関心が健康問題に向かうようになり、特に中年以上の人は自ら見えて元気に活動的になつてきました。平均寿命もどんどん伸びているし、実際に心身ともに若返っているのは間違いないでしょう。

一汁三菜

一汁三菜とは、日本料理の基本献立。その一例として、汁物一品に刺身、煮物の三菜を組み合わせたものをいいます。将軍とされたが、当時幕府財政の危機が重大な段階であった。将軍となつた吉宗は健康の治世に復すことを宣し、財政健全化の改革を遂行した。

イビウーナ

一汁三菜とは、日本料理の基本献立。その一例として、汁物一品に刺身、煮物の三菜を組み合わせたものをいいます。将軍となつたが、当時幕府財政の危機が重大な段階であった。将軍となつた吉宗は健康の治世に復すことを宣し、財政健全化の改革を遂行した。

投稿者におねがい

●読みやすい書体で1千字以内にとめてください。多すぎる場合は掲載できないことがございます。●紙面の都合で、投稿の一部を削除することがあります。了承ください。●原稿用紙を使ってください。Eメールでの投稿を歓迎しますが、原稿用紙を添付してください。●送る際はニッケイ新聞「がらつき」係、Eメール hangei@nippi.com

「お客さん、トイレへ行ってください」

もう数年前のことであつたが、日本の大手航空会社が、大層奇抜な発想を出して注目を浴びたのであつた。乗客のみなさん、飛行機に乗る前にトイレを使って下さい。トイレは1%の燃料の節約になるといった、とトイレに行き、機内を悪臭が充満することを避けるためかと思つたが、なんと、機体の自重を減らすためであつた。

桑本 大樹

活躍しておられること、悦ばしいことであり、しかしこれは言うに易く、実行は難しいことでは。沖繩県民の心意気を感じました。ブラジルの沖繩県民は多く、その団結力も強いようです。昔からのしきりも、しっかりと受け継いでいるようです。これは団体の指導者がしっかりと行っているからでしょう。また若い2世3世にも日本語を積極的に教えることで、これは大切なことだと思ひます。このように、沖繩県民が各分野で目覚ましい活躍をされていること、これは素晴らしいことです。

清水 秀策

旅客機の素材は軽くて丈夫なことが絶対条件であるが、2030年頃までは飛行機にもF1レーサーカーなど用いられる炭素繊維、カーボンファイバーの複合材料をメイン材料とする機体軽量化が実現されるのであつた。これを改良するため、チェック・イン台の側に一台の秤をおき、受付係に「このヤカラは90キログラムを越す」と見なしたら、速やかに秤に乗って、超過分の課徴金を請求する。その徴収金は燃料費削減に使われ、その結果、肥満者が減り、体減少のためダイエットにはげむであろう。そして肥満患者が激減、多くの男女が痩身に。飛行機がぐつと身軽になる。正に一石三鳥ではないか!

瀨尾 正弘

吉宗の食事は現代にも通用する質素なもので、現代の太りすぎた人々のダイエットにちょうど良い食事ではないだろうか。実は、私の体重も数年前までは62キログラムであつたが、最近65キログラム前後と少し減った。妻は見習う事にしよう。年末には62キログラムを目標としたい。

馬、牛追い、投げナワ、バイク、自転車、何でもやりました。

就職困難な今の時代、何か工夫して自営業をやるのも一つの手段と思ひます。自営業を考える他に、方法はないのではないかと思ひます。今の素晴らしい日本があると思うのです。明治維新は当時の志士、坂本龍馬や西郷隆盛、山岡鉄舟ら幕末の熱血漢によって成し遂げた例です。坂本龍馬や西郷隆盛、山岡鉄舟らの熱意と仁愛、温かい人情に恵まれた人柄は、本当に尊くありたいことでもあります。

明治維新

12月10日、NHK放送でブラジルの沖繩県民のことが放映されていきました。ウチナンチュの心意気を感じました。ブラジルの沖繩県民は多く、その団結力も強いようです。昔からのしきりも、しっかりと受け継いでいるようです。これは団体の指導者がしっかりと行っているからでしょう。また若い2世3世にも日本語を積極的に教えることで、これは大切なことだと思ひます。このように、沖繩県民が各分野で目覚ましい活躍をされていること、これは素晴らしいことです。

桑本 大樹

活躍しておられること、悦ばしいことであり、しかしこれは言うに易く、実行は難しいことでは。沖繩県民の心意気を感じました。ブラジルの沖繩県民は多く、その団結力も強いようです。昔からのしきりも、しっかりと受け継いでいるようです。これは団体の指導者がしっかりと行っているからでしょう。また若い2世3世にも日本語を積極的に教えることで、これは大切なことだと思ひます。このように、沖繩県民が各分野で目覚ましい活躍をされていること、これは素晴らしいことです。

清水 秀策

旅客機の素材は軽くて丈夫なことが絶対条件であるが、2030年頃までは飛行機にもF1レーサーカーなど用いられる炭素繊維、カーボンファイバーの複合材料をメイン材料とする機体軽量化が実現されるのであつた。これを改良するため、チェック・イン台の側に一台の秤をおき、受付係に「このヤカラは90キログラムを越す」と見なしたら、速やかに秤に乗って、超過分の課徴金を請求する。その徴収金は燃料費削減に使われ、その結果、肥満者が減り、体減少のためダイエットにはげむであろう。そして肥満患者が激減、多くの男女が痩身に。飛行機がぐつと身軽になる。正に一石三鳥ではないか!

瀨尾 正弘

吉宗の食事は現代にも通用する質素なもので、現代の太りすぎた人々のダイエットにちょうど良い食事ではないだろうか。実は、私の体重も数年前までは62キログラムであつたが、最近65キログラム前後と少し減った。妻は見習う事にしよう。年末には62キログラムを目標としたい。

直ぐに降りるつもりで運転手の傍に立っている。急に運転手が前方を見ながら話し始めて来た。聞き慣れぬ語が連続して最初の間は2、3度聞き返していたが、急に理解できた。当たらなければ、彼は日本語で話しかけていたのだが、容貌がまさかブラジル人だ。だから彼の日本語を私は本語として聞いていた。

サンパウロ

黙るうちに日本人だと考えるのに異論はないだろう。それほどあの当時、日本は外人を身近で見かけなかった。比較的外人が多かった。比較的外国人でも、外人の姿を見受けることは稀といえた。それゆえ日本人の容貌をしていれば、国籍は日本人だと考えられた。あの当時から半世紀が経過し、ブラジルからも出稼ぎに多くの2、3世が日本へ渡っていった。それらの人同士の組み合わせで、彼のように本場に伯人的容貌の日本人籍を持つ子供が生まれる可能性もあつたのだ。

定義「高齢者」とは?

ニッケイ新聞1月6日の一面に、高齢者は75歳以上、70歳前後は「社会の支え手」という見出しがあった。日本の高齢問題の研究者らでつくる日本老年学会の関係者らが、現在65歳以上とされた「高齢者」の定義を75歳以上に見直し、65〜74歳は「准高齢者」として社会の支え手と捉え直すよう求める提言を発表した。

サンパウロ

と記事にありました。私は見出しを見ただけで、全く同感だと思ひ、その後4面に続く「生誕100年」の「流れ」の記述も一気読みしました。そして感じたことは、このように事を研究しているクループがあつたのになぜ、なぜと早い時点から、なげに失うか、印象を受けました。日本は50年以上前か

秋吉 寿子

ら慣例的に65歳以上を高齢者としていたところで、確かに50年前の頃は65歳にもなれば見たい目も老人だつたように思ひます。しかしその後、日本が驚異的とも言える経済発展を成し遂げようとして国民の関心が健康問題に向かうようになり、特に中年以上の人は自ら見えて元気に活動的になつてきました。平均寿命もどんどん伸びているし、実際に心身ともに若返っているのは間違いないでしょう。

一汁三菜

一汁三菜とは、日本料理の基本献立。その一例として、汁物一品に刺身、煮物の三菜を組み合わせたものをいいます。将軍とされたが、当時幕府財政の危機が重大な段階であった。将軍となつた吉宗は健康の治世に復すことを宣し、財政健全化の改革を遂行した。

イビウーナ

一汁三菜とは、日本料理の基本献立。その一例として、汁物一品に刺身、煮物の三菜を組み合わせたものをいいます。将軍となつたが、当時幕府財政の危機が重大な段階であった。将軍となつた吉宗は健康の治世に復すことを宣し、財政健全化の改革を遂行した。

投稿者におねがい

●読みやすい書体で1千字以内にとめてください。多すぎる場合は掲載できないことがございます。●紙面の都合で、投稿の一部を削除することがあります。了承ください。●原稿用紙を使ってください。Eメールでの投稿を歓迎しますが、原稿用紙を添付してください。●送る際はニッケイ新聞「がらつき」係、Eメール hangei@nippi.com

23日(月)の NHK 00:23 ワールドウェザー 01:00 視点・論点 01:20 ひろく 01:45 連続テレビ小説「べっぴんさん」(92) (豆腐) 02:00 新日本選手権 03:00 花は咲いた! 03:48 NHKプレマップ 03:50 BSニュース 04:00 COOL JAPAN〜発掘!

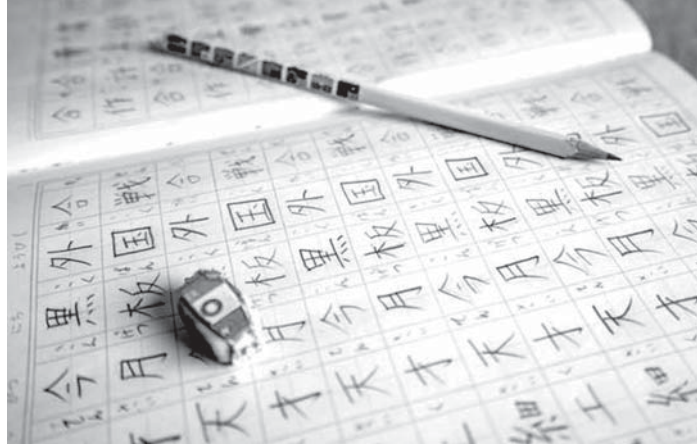
22日(日)の NHK 08:00 NHKニュース 7 08:30 大相撲幕内の全取組初場所 09:00 大相撲幕内の全取組初場所 09:45 ニュース・気象情報 10:00 NHKスペシャル「シリーズMEGA CRISIS」 10:15 第22回 全国都府県対抗男子駅伝(延長の場合あり) 10:40 大相撲初場所「千秋楽〜両国夜籠」 10:45 ワールドウェザー 10:50 世界ふれあい街歩き「世界がいついかに」 11:50 BSニュース 12:00 今週のワタシ 12:30 NHKプレマップ 12:35 サンドエーススポーツ

24日(火)の NHK 03:25 ナース 04:00 ナース 04:25 ナース 04:50 ナース 05:00 ナース 05:10 ナース 05:20 ナース 05:30 ナース 05:40 ナース 05:50 ナース 06:00 ナース 06:10 ナース 06:20 ナース 06:30 ナース 06:40 ナース 06:50 ナース 07:00 ナース 07:10 ナース 07:20 ナース 07:30 ナース 07:40 ナース 07:50 ナース

22日(日)の NHK 08:00 NHKニュース 7 08:30 大相撲幕内の全取組初場所 09:00 大相撲幕内の全取組初場所 09:45 ニュース・気象情報 10:00 NHKスペシャル「シリーズMEGA CRISIS」 10:15 第22回 全国都府県対抗男子駅伝(延長の場合あり) 10:40 大相撲初場所「千秋楽〜両国夜籠」 10:45 ワールドウェザー 10:50 世界ふれあい街歩き「世界がいついかに」 11:50 BSニュース 12:00 今週のワタシ 12:30 NHKプレマップ 12:35 サンドエーススポーツ

24日(火)の NHK 03:25 ナース 04:00 ナース 04:25 ナース 04:50 ナース 05:00 ナース 05:10 ナース 05:20 ナース 05:30 ナース 05:40 ナース 05:50 ナース 06:00 ナース 06:10 ナース 06:20 ナース 06:30 ナース 06:40 ナース 06:50 ナース 07:00 ナース 07:10 ナース 07:20 ナース 07:30 ナース 07:40 ナース 07:50 ナース

日本語は世界的に見ると「異常」！ 英語ネイティブにとって難しい言語とは？



「はね」「はらい」などがあるのは日本語の特徴
[All Photos by Shutterstock.com]

ドイツ在住

赤松春奈

英語ネイティブにとって、標準的な難易度で分類されたのが、ヒンディー語、ロシア語、ベトナム語、トルコ語、ポロンド語、タイ語、セルビア語、ギリシャ語、ヘブライ語、フィンランド語の10言語。

こちらはヨーロッパから東南アジアまで、ずいぶん幅広い顔ぶれとなりました。習得に必要な期間の目安は、44週間、授業時間にして1110時間。「標準」といえる

の目安は、23〜24週間、授業時間にして575〜600時間です。見事に英語が生まれたイギリスに近いヨーロッパの言語が並んでいますね。

このなかでひとつ聞きなれない言語が混ざっています。「アフリカーンス語」とは、南アフリカやナミビアで話されている言語。アフリカの言語という点で、ヨーロッパの言語と大きく違うのでは？

と思えますが、アフリカーンス語はオランダ語から派生したヨーロッパ系の言語なのです。ヨーロッパの言語は文法的に英語と共通している部分があったり、似た単語が少なからずあったりするので、英語ネイティブにとって習得が簡単なものも少なくありません。

英語ネイティブにとって難しい言語とは？

英語ネイティブにとって難しい言語とは？

英語ネイティブにとって難しい言語とは？

英語ネイティブにとって難しい言語とは？

英語ネイティブにとって難しい言語とは？

英語ネイティブにとって難しい言語とは？

英語ネイティブにとって難しい言語とは？

英語ネイティブにとって難しい言語とは？

英語ネイティブにとって難しい言語とは？

英語ネイティブにとって難しい言語とは？

はまったく同じではないものの、日本人はすでに漢字を知っている、似ている単語も多いこと、から、日本人にとっては習得が特別難しい言語ではありません。

また韓国語も、日本語と語順が似ている、日本語と発音の似た単語があるといった特徴から、日本人にとっては比較的習得しやすい言語といわれています。

日本語が難しいときさ

日本語は、基本的に冠詞がなく、名詞の単数・複数を区別する必要もなく、未来形は現在形とほぼ同じ、さらに疑問文は平叙文の語尾を少し変えるだけでよしと、簡単な

筆者のパートナーはドイツ人で、日本語を学習している。漢字の書き取りもコツコツ取り組んでいるのですが、ある日

「見えない世界が違」

「見えない世界が違」

「見えない世界が違」

「見えない世界が違」

「見えない世界が違」

「見えない世界が違」

「見えない世界が違」

「見えない世界が違」

「見えない世界が違」

「見えない世界が違」

他の言語では表現できない微妙なニュアンスの違いを出せるのが日本語の美しさだと思えますが、外国人にその必要性が理解されないのは無理もありません。

3種類の文字があることに加え、語彙の数が多く、敬語が難しいこと、書き言葉と話し言葉の差が比較的大きいことも、日本語が難しいといわれる要因といえるでしょう。

アルファベットには

アルファベットには

アルファベットには

アルファベットには

アルファベットには

アルファベットには

アルファベットには

アルファベットには

アルファベットには

アルファベットには

アルファベットには

アルファベットには

アルファベットには

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

「覚えない記憶術」

メルマガ 国際インテリジェンス機密ファイル
http://www.mag2.com/m/0000258752.html
公式ブログ 国際インテリジェンス機密ファイル
http://ameblo.jp/jyoho2040/
【発行】国際インテリジェンス研究所

につけい わかも の いけん こうかんかい じっし

日系若者の意見交換会実施



総領事公邸で親睦を築いた日系若者リーダー

各界で活躍のリーダー参集

「日系社会のすごい力に」

日本国外を拠点にした文化施設「ジャパン・ハウス」(以下、JH)が今年5月にオープンするに先駆け、在聖領事館(中前隆博総領事)は、日系社会をはじめとする次世代を担う若いリーダーを招待し、「意見交換会」を19日夜、聖市モルンビー区の在聖領事公邸で行った。各界で活躍する50人以上の若者は、興味深々といった様子で説明に耳を傾け、活発な質疑応答が交わされた。

挨拶に立った中前総領事は、「これまで全く知らなかった日本に出会う驚きに満ちた場所になる」と力説し、日系人の若者に対して「何が日本なのかを再発見し、ルーツに誇りを感じられるものになれば」と期待を寄せた。

その後、平田アンジェラ事務局長から、JHのコンセプトや概要説明が行われた。出席者のなかには、羽藤ジョルジ聖市議、I.P.K.の小林グイツトル会長ほか、各日系団体や企業など各界で幅広く活躍する日系の若者が多く参加した。

質疑応答では、現代的な側面を全面的に打ち出すJHに高い関心を持った。

亥年が新年会、28日 例年100人集合の古参

亥年生まれによるのしし会が「第32回新年会」を、28日午後7時から聖市リベルダデ区の宮城県人会館(Semurades, 152)で行なう。会費は一般80レアル、75歳以上60レアル、12歳以下は無料。毎年恒例の同行事。昨年は100人ほど参加した。コロナの干支の会



研修生を募集、長崎

申込み来月11日まで

貴会長と清水オリジオ副会長は、「誰でも歓迎。大勢の参加を期待しています」と呼びかけた。

事前申し込みや問い合わせは近況(11・504・2609/9718・6528)、清水(同・3813・8122)、島袋マリオ(同・94152・9526)各氏まで。

松井宮子さん

聖市の文藝ビル向かいにある日本食店「喜登」の創業者。松井宮子さんが18日夕方、ガンによる心臓停止によってサンタクルス病院で亡くなった。享年73。

北海道生まれでアイヌ民族の宮子さんは1984年、二世の夫やらと渡伯した。その後、同店を開業し「喜登」のおばあちゃんとして、常シエフを務める松井宮子さんを慕うファンが数多くいる。花柳寿美富彦さん、響フアミリーの杉さん、真さんの母にあたる。

19日午前、告別式がピラ・マリニア墓地で、葬儀がピラ・アルビーナ火葬場で行なわれた。初七日法要は親族のみで執り行う。

陸上アナスピ、会長に宮村さん

再来年の記念大会、千人規模で

アナスピ・マスターズ陸上ベテラン会(会員約150人)は、先月2日に定期総会を行い、新会長に宮村憲治さん(副会長に河崎義男)が就任した。両氏は18日、報告のため来社した。

9月24日に第29回

目を迎える全日本大会に向けて、練習を重ねているという会員たち。移り110周年を迎える来年は、第30回を記念して全日本からも招待し、1200人規模の大きな大会となる予定だ。最年少は5歳から、最

員が陸上に励んでいると、宮村会長、河崎第一副会長は「皆さんの協力を得て、会を運営していきたい。運動は長寿の秘訣。ぜひ一緒に体を動かしましょう」と呼びかけている。新役員は以下の通り(敬称略)。

【会長】宮村憲治(総



(左から)宮村会長、河崎第一副会長

サンパウロで邦人殺害

神奈川出身の本間裕さん

「リオ・デ・ジャネイロ共同ブラジルの最大都市サンパウロで16日に日本人男性が殺害された事件があったことが19日分かった。在サンパウロ日本総領事館が明らかにした。

オーストリアによる

本間さんは神奈川県出身で、昨年3月からサンパウロの子会社で勤務していた。

同社が地元警察に確認した情報によると、16日午後、本間さんが運転する車の横に2人乗りのバイクが現れ、窓を開けよう求められたが応じなかったところ、銃撃

ウロは1971年に試験をスタートさせている。その中で、ブラジル移民の増加に伴い、試験を受ける資格をせす研修だけと資格をとった人がいるというところになりまし」とのこと。かつては州ごとに別々だったが、今の全伯統一の義務ではありませ

「OAB試験という制

貴会長と清水オリジオ副会長は、「誰でも歓迎。大勢の参加を期待しています」と呼びかけた。

事前申し込みや問い合わせは近況(11・504・2609/9718・6528)、清水(同・3813・8122)、島袋マリオ(同・94152・9526)各氏まで。

PERFUMARIA TAKEO 化粧品専門 たけお店 二九四・九三三

病氣平癒・健康祈願 南米神宮 R. Estado de Israel, 76 VI. Clementino - S. Paulo - SP Fone: (11) 5575-4783 www.templexointoista.org.br

購読者の方々へお知らせ 来る1月25日がサンパウロ市創立日(休日)のため、TRANSFOLHAで新聞を受け取っておられる購読者の方には、24/01(火曜日)は配達がなく、火・水曜日の新聞は25/01(水曜日)に届く事となります。何卒ご理解の程お願い申し上げます。 ニッケイ新聞社 営業部・発送係

サンパウロ日伯看護協会 日伯友好病院 ENKYO 最新設備と専門スタッフを備えた日伯友好病院は真心込めた医療をあなたへお届けします 24時間受付 ・内科・外科・小児科・整形外科 心臓外科 他 日本語で対応します 各種健康保険取り扱いしています (日本の保険各種) 日伯友好病院行きバスのご案内 地下鉄Tatuapé駅発 172X-10 地下鉄Santana駅発 271M-10 Dom Pedro II公園発 272N-10 Tel: (11) 2633-2200 Rua Pistoia, 100 - Pq. Novo Mundo - São Paulo www.hospitalnipo.org.br

サンパウロ日伯看護協会 リベルダデー医療センター ENKYO 日本語で対応します 受付時間 月~金 07:00~18:30 土 07:00~12:30 人間ドック受付 月~金 07:00~16:00 人間ドック、診察と検査 (内科及び各種専門科)、歯科 各種健康保険取り扱いしています (日本の保険各種) 日本語の診断書を発行します お問合せ: (11) 3274-6555 ご予約 (内科以外の各専門科): (11) 3274-6508 (11) 3274-6495 人間ドック: (11) 3274-6501 歯科: (11) 3274-6501 Adesão de novos associados 新会員募集: (11) 3274-6523 Rua Fagundes, 121 - Liberdade - São Paulo - SP www.enkyo.org.br

日本人の特質 Os Japoneses e seus legados わ 誠実さや勤勉さは如何にして、生まれたか ポルトガル語でわかりやすく解説 子孫繁栄に欠かせぬ一冊 販売価格 R\$ 20 二文・お問い合わせ先 詳しくはニッケイ新聞社編集部まで 電話: (11) 3340-6060

Associação YAMAGATA-KENJIN do Brasil Convocação para Assembleia Geral Ordinária Prezados Senhores, A Associação Yamagata Kenjin do Brasil convoca a todos os Associados para a Assembleia Geral Ordinária, que tem como pauta a divulgação dos trabalhos desenvolvidos e a aprovação das contas do período de 2016 e o plano de trabalho e as contas para 2017. DATA: Dia 12 de Fevereiro de 2017 (domingo) 1ª convocação; às 12: horas 2ª convocação; às 12:horas30minutos LOCAL: Av. Liberdade 486, S/ 24 e 25, 26 no salão de sua sede em São Paulo - SP Após a Assembleia haverá jantar de confraternização de Ano Novo, no local. São Paulo, 21 de Janeiro de 2017 Presidente Toshimi Shinohara

China

Motivos da participação do presidente chinês no Fórum Econômico Mundial

No Comentário de hoje, vamos ouvir o economista sênior Toru Nishihama, do Instituto de Pesquisa Daiichi Life. Ele vai nos falar sobre os motivos da participação do presidente da China no Fórum Econômico Mundial deste ano. Xi Jinping é o primeiro presidente do país a participar do evento realizado anualmente em Davos, na Suíça. Ele diz: "Em um dos principais discursos do fórum, o presidente Xi Jinping disse que vai promover o livre comércio e se opor ao protecionismo. Este é o tipo de linguagem que se poderia esperar de um líder de um país do ocidente como os Estados Unidos ou alguma nação europeia contra a China. Mas atualmente, o que se vê é a saída do Reino Unido da União Europeia e as declarações de cunho protecionista do presidente Donald Trump nos Estados Unidos. É como se o presidente chinês estivesse tentando reverter o que era considerado a norma. Acredito que a China está tentando impor sua influência sobre países emergentes e aqueles

ricos em recursos naturais. Acredita-se que estas nações vão registrar crescimento econômico enquanto os Estados Unidos e a Europa perdem sua posição de destaque. Temos agora uma aceleração na globalização da economia que vem encorajando o reforço de alianças. A questão é como ligar estas alianças com o crescimento econômico de cada país. Podemos interpretar o discurso de Xi Jinping como uma declaração ao mundo de que a China vai assumir um papel de liderança nestas alianças. Contudo, o cenário atual da economia chinesa não é de um crescimento saudável. A realidade é que o país está mantendo a expansão econômica da mesma forma que fazia quando o crescimento dependia de investimentos imobiliários e obras públicas. Estes são setores que registraram avanços, tais como transações e pagamentos via internet. Mas a China não conseguiu solucionar a questão do excesso de instalações, que é evidente em indústrias pesadas como siderurgia e de produtos petrolíferos. A não ser que a economia global

volte a crescer criando um ambiente favorável às exportações, a China pode se ver em um dilema. Talvez o objetivo real da China seja promover o comércio livre e revitalizar a economia mundial para se proteger. Além disso, a China deseja criar novas áreas para ela mesma crescer, ampliando a zona de livre comércio e no processo transformando o país praticamente no padrão mundial. Por exemplo, a China já está desenvolvendo em escala global sua estrutura para a indústria da telefonia móvel, que inclui linhas de produção de partes e montagem. Acredito que o país está também tentando entrar na área de software, como os serviços relacionados com a internet. O governo Trump deve forçar a situação a favor dos interesses dos Estados Unidos. A China, dizendo que é por causa do livre comércio, vai botar muita pressão para obter diretrizes e regras favoráveis a si. Na minha opinião, veremos um acirrado confronto entre as duas potências."

Grande Terremoto de Kobe

Cerimônia marca os 22 anos do grande terremoto de Kobe

As pessoas se reuniram na cidade de Kobe para lembrar das vítimas do forte terremoto que devastou a região, no oeste do Japão, 22 anos atrás. O Grande Terremoto de Hanshin aconteceu no dia 17 de janeiro de 1995. Na tragédia, 6.434 pessoas morreram. Familiares e sobreviventes

se reuniram em um parque da cidade para a cerimônia. No local, cerca de sete mil lanternas de bambu foram acesas. Os presentes ofereceram suas preces às 5:46 da manhã, hora exata do tremor há 22 anos. As lanternas foram dispostas de modo a formar os números 1 e 17, lem-

brando a data do terremoto, 17 de janeiro, e o ideograma "hikari", que significa "luz". Mais tarde, na manhã do mesmo dia, uma cerimônia foi iniciada em frente ao monumento memorial do parque. Um dos participantes, Shinji Otorii, perdeu a esposa no desastre. Ele disse que ainda sente falta da mulher mesmo depois de ter superado a tragédia e aceitado viver sem ela. Muitas pessoas continuaram a passar pelo parque até a noite. Segundo o governo da cidade de Kobe, o número de visitantes até as 5 horas da tarde era de cerca de 31 mil pessoas.

Estrangeiros Qualificados

Japão cogita afrouxar requisitos de visto permanente para estrangeiros qualificados

O Ministério da Justiça do Japão tem cogitado afrouxar requisitos para estrangeiros altamente qualificados obterem o visto de residência permanente.

Atualmente, o ministério japonês usa um sistema de pontos para avaliar inscrições de candidatos a vistos de residência permanente. Entre os critérios estão conquistas profissionais e um determinado nível de salário anual. Além de morar no Japão por cinco anos, os inscritos precisam acumular um mínimo de 70 pontos.

Com as mudanças cogitadas, o período mínimo de residência exigido pode cair para três anos. E seria menor ainda, de um ano, para estrangeiros com mais de 80 pontos no sistema. Ainda de acordo com a proposta, candidatos formados em universidades de prestígio ou envolvidos em projetos de tecnologia avançada de setores

em crescimento como o de TI vão poder receber pontos extras. O ministério japonês planeja fazer uma consulta pública sobre as mudanças por cerca de um mês. De acordo com representantes do órgão, os novos critérios talvez entrem em vigor já no final de março.

Desafios Futuros

A viagem do premiê japonês e os desafios futuros do Japão

No Comentário de hoje, vamos ouvir Junichi Sugawara, pesquisador sênior do Instituto de Pesquisas Mizuho. Ele vai nos falar sobre o resultado da mais recente viagem oficial do premiê japonês, Shinzo Abe, por quatro países e dos desafios futuros que o Japão enfrenta. Ele diz: "Acredito que o empenho do primeiro-ministro Abe para reforçar os laços econômicos assim como os de segurança com três países do Sudeste Asiático e a Austrália tem grande importância. Na minha opinião, foi importante o premiê conseguir conversar com as Filipinas, que preside este ano a Asean, e com o Vietnã, que encabeça a Cooperação Econômica Ásia-Pacífico. Espera-se que os dois países exerçam papel-chave este ano na região. A perspectiva de cooperação econômica na região ainda é incerta. Por um lado, o presidente dos Estados Unidos, Donald Trump, promete sair da TPP. Enquanto isso, a China está tentando estreitar a cooperação com outros países asiáticos através do Banco Asiático de Investimentos em Infraestrutura e outros canais.

Devido à relutância do lado americano em aprovar o pacto, o acordo de livre-comércio conhecido como TPP não deve entrar em vigor tão cedo. Mas ainda há chances de que os Estados Unidos voltem para a TPP ou algo equivalente, ainda que isso leve alguns anos. Durante sua viagem, Abe deixou claro para as Filipinas, país que não é membro do acordo, que o Japão está disposto a manter seu comprometimento com a TPP. Ele também confirmou para a Austrália e o Vietnã que vai se empenhar pela implementação antecipada do pacto, cujos signatários incluem as duas nações. Acredito que as ações de Abe ajudaram a promover a TPP de um certo modo. Por outro lado, os esforços do premiê para reiniciar as negociações ora paralisadas da Parceria Regional Econômica Abrangente, conhecida como RCEP, na sigla em inglês, não foram tão bem-sucedidos. Este pacto de livre-comércio envolveria países do Leste Asiático, e as quatro nações visitadas por Abe participam das negociações. A fim de obter progressos nas conversações da

RCEP, é fundamental o envolvimento da China. Caso Donald Trump adote a política protecionista que ele alardeou durante sua campanha eleitoral, a tensão comercial entre os Estados Unidos e a China deve aumentar. Isso poderia ter um efeito negativo sobre as negociações da RCEP. Para o Japão, o fechamento do acordo, que envolve parceiros comerciais de peso como China, Coreia do Sul e Índia, não apenas expandiria os mercados para produtos japoneses mas também promoveria reformas estruturais internas. O Japão, junto com outros países asiáticos, precisa convencer Trump que uma atitude protecionista seria prejudicial tanto para os Estados Unidos quanto para a região Ásia-Pacífico. Eles precisam convencer o presidente-eleito de que manter o compromisso com a região está de acordo com os interesses nacionais americanos. Acredito que vai ser cada vez mais importante para os países asiáticos fazer um apelo em uníssono ao novo presidente americano para que ele mude de opinião."

Aplicativos gratuitos da NHK WORLD

TV em inglês em 24 horas

NHK WORLD TV Live

*Para Android, iOS e Kindle Fire



NHK WORLD
RADIO JAPAN
Estas notícias são produzidas pela
NHK WORLD RÁDIO JAPÃO.
nhk.jp/portuguese